

〔これからの箕面のまちづくりの進め方〕(案)

先に示すこれからの10年にあるように大きな変革が予想されます。
 今回はその変革に対応できる「社会の仕組みづくり」を提案することが最も大切であると考えます。
 重要な社会変革を受けて目標を実現するために箕面で取り組むべき方向を以下のように整理しました。

本格的な高齢社会に移行する初期の10年。 3万人の居場所づくりが急務？
 後期高齢者に移行するまでの**前期高齢者の多様な生活スタイルの生活環境整備**

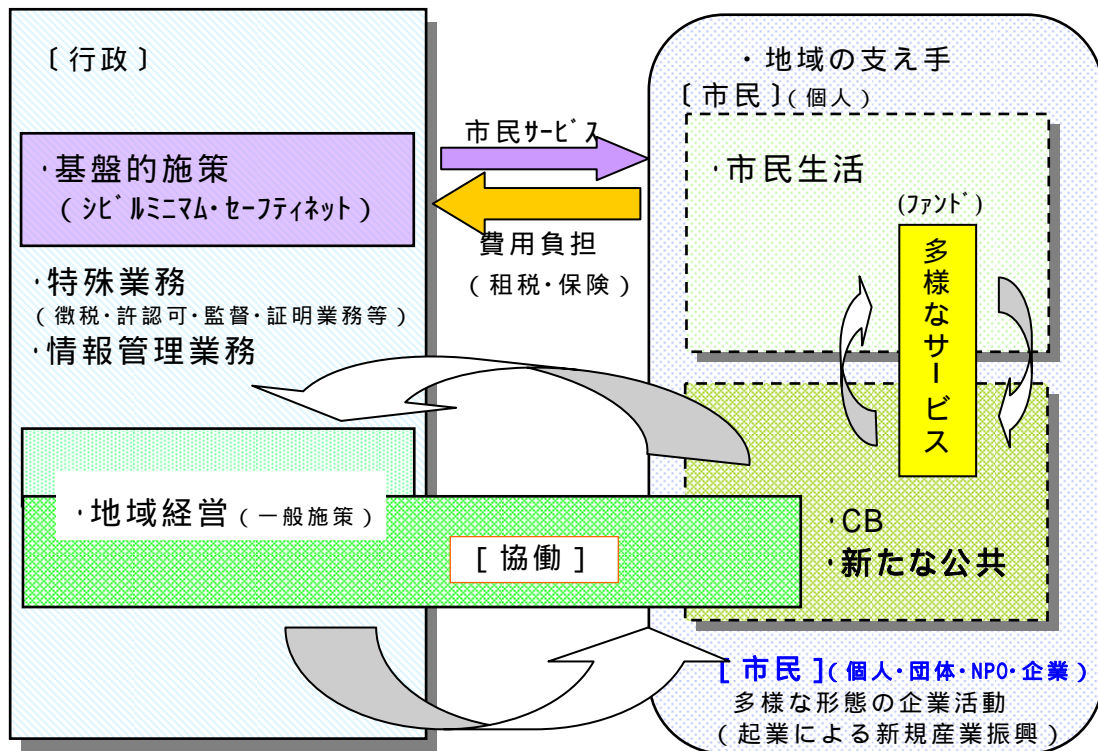
財政の緊迫化を受けてどのような地域経営を目指すか。 削減や効率化は避けられない。
 行政のスリム化 直営の市民サービスから「民」による多様で選択可能なサービスへ
 その場合、できるだけ地域循環経済を念頭に置いた**市民参加型のCB育成環境の整備**を

多様な価値観に応える市民サービスの展開 (受け手と供給サイドの表裏一体)
 市民生活の満足度を高めるためのサービスの選択とそれを支える提供側への参画
 裏返せば、**サービスの相互化(双方向化)の仕組みの整備** **新たな 公共**

地域の人材を活用した、地域経営の推進
 行政にすべてを担ってもらうのではなく、**公・共・私** の役割分担を図りながら**地域課題を改善(軽減)する社会の仕組みづくり**

起業促進 **協働の推進**
 地域資源である **自然環境・社会環境・人材** を活用した **まちづくり**

《協働・CBを軸に考えた地域経営モデル》



- 実現に向けて、まず取り組むこと
- ・市民自身の自立的社会参加意識の高揚とそれに伴う社会づくり、情報共有など。
 - ・協働や社会起業に備えた社会教育(人材育成)
 - ・多様な価値観を認めあう地域づくり

その他補足的MEMO

《創造都市づくり》

自由な発想をカタチに変えることを支援する仕組み
自由な活動を支えるインフラ整備

・まちづくりバンク

- ・ 基本的概念は、中間支援（コンサルティング）+ シンクタンク
- ・ まちづくりに関する各種のアイデア、提案や人材登録などをストック（登録）する機能
- ・ アイデアや提案を政策（まちづくり）に反映・具体化する検討（研究）機能

・CBについて

地域課題の解決を目指す起業から、地域発の新たな産業（企業）が育つ環境整備
例としては、箕面の森林環境や旅館、人材などの既存ストックを活用したセラピー（観光+医療）やエコツーリズム（観光+環境+癒し）などの個性的な産業興し。

・芸術文化分野での起業育成

（まちづくりのアイデアのひとつ？）

市内から排出される優秀な人材の活動の場を確保しつつ、地域ブランドの向上
地域の活性化を
音楽、映像、演劇、絵画、写真、紙芝居、手芸、生け花、舞踊 etc

・ものづくり分野での起業育成

地域の資源を活用して、生活を豊かにする道具などを創る起業を支援する仕組み
づくり
伝統技術の継承から、独自のデザイン開発まで。
例えば 竹や間伐材を使った高齢社会にも優しいユニバーサルデザイン開発工房

・その他

- ・ 行政のスリム化 は、小さな経済社会のしくみづくりなのか。
- ・ 高齢世代経済の社会での活用 （例；市民ファンドや自身への投資）
- ・ メリハリのある集中的な資源投入による地域社会の元気づくり